

中年の危機という心理学用語があるように、中高年になると様々な能力の衰えを実感するものです。しかし、すべての能力が劣っていくわけではありません。歳をとるごとに、高まっていく能力もあるのです。自分の経験や知識から導き出される判断力や洞察力、統率力、さらには人間関係を作っていくコミュニケーション能力など、これらは経験と知識と学習がなければ高まらない力です。このような力が「結晶性知能」です。この結晶性知能は、若い時は、まさに「結晶」していませんから高まっていません。たくさんの苦勞、困難、楽しみ、喜怒哀樂を経験し学習していく過程で結晶していくものなのです。その最終形が、「勘」の働きなのです。「勘」は、まさに「結晶性知能」がなければ働きません。豊富な経験と弛まぬ努力をして身につけた知識が結晶し初めて「勘」が働くのです。根気がなくなったとか、どうも昔のような切れがなくなったと嘆くことは無く、人生を長く経験をしなければ身につけられない知能もあるのです。その「結晶性知能」を分けて頂く道場が例会だと思えます。

戦後から振り返りますと、失われた20年と言われる今が一番苦勞しているのではないのでしょうか。特に我が国を取り巻く経済環境は、リーマンショックから始まった世界的な不況から未だ脱却出来ないでおります。

過去にないほど高くなった円、近隣諸外国とは接するがゆえの問題もあり、日本製品不買運動や日系企業の排除にまでなっている現状です。

世界に名立たる液晶メーカーは日本を代表する企業としてもはやされた面影は跡形もなく、会社存亡の危機に立たされている。老舗と言われる企業、時流に乗り、日本経済のけん引役を務めてきた、就職したい会社の上位を占めた会社も大赤字を計上。その額は、わずか数社だけで1兆円をも超えるとも言われています。

この世界的な負のスパイラル（渦）に多くのロータリアンも引きずり込まれ、もがき・苦しみ・前も後ろも上も下も解らなくなってしまっているのが現状ではないのでしょうか。この状況下だから“しょうがない”と諦めていてはロータリーに所属している意味がありません。

先輩たちから教えを頂くばかりでは申し訳ありませんし、一方通行では申し訳ありません、若いからこそ馴染んでいる環境について「社員に聞けない」「今さら・・・」等々を先輩たちには私達からお持ち帰り頂ければと思います。

40歳代のスマートフォンを持っている一般の人の60%以上がかかっているのがフェイスブックです。そこで少しお話しさせていただきます。専門の方がいらっしゃるので釈迦に説法かもしれませんが、近年、目まぐるしい勢いでIT化・グローバル化が進んでおります。FB(フェイスブック)に投稿すると、

わずか一分足らずで地球の裏のブラジルの知人から「いいね」の反応がある。

世界最高峰への登山を衛星通信でライブ中継する登山家がいる。

世界中の何処にいても瞬時に知る事が出来る、見る事が出来る。

まさに【不景気でも雇える営業マン】新たな営業ツールとして経営者の我々が手を出さないわけには行きません。

我々はこれを商売（経営）に使わない手はない。自社の製品を日本中、いや世界中に宣伝する事が出来る素晴らしい環境は整っています。ありがとうございました。

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1951回例会 2013年1月29日(火)

- | | | |
|-----------------|-------|--|
| ■ 国際ロータリー会長 | 田中 作治 | ■ 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■ 第2790地区ガバナー | 得居 仁 | ■ 例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F |
| ■ 第12分区ガバナー補佐 | 川上 伸夫 | ■ 事務所 - 松戸市根木内249-7 (株)山安 内 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ会長 | 長島 正巳 | ■ TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ幹事 | 高橋 一彦 | ■ Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

<第1951回例会プログラム 進行:並木幸雄会員>

- 12:30 黙祷【故 中村力三会員に対して】
- 12:31 点鐘
ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
- 12:35 会食
- 13:00 会長挨拶及び報告 長島正巳会長
- 13:10 幹事報告 高橋一彦幹事
- 13:12 卓話 小林辰幸会員
- 13:28 委員会報告
(社会奉仕基金BOX)社会奉仕委員会 渡辺敏弘委員長
- 13:30 点鐘



<会長挨拶:長島正巳>

既に、FAXにてお知らせ致しましたように、2012～13年度で二度目の悲しい報告となります。

1月21日に中村力三会員がご逝去されました。中村会員は1994年1月11日に入会され19年間の長きに渡り、松戸北クラブを支えて来て頂きました。皆さんのご記憶にも有ると思いますが、中村会員は多くの米山奨学生のカウンセラーを務められ、米山奨学生にとっては日本の父のように慕われていました。

昨年、大静脈の手術をされ元気な姿を見せて頂き、当クラブの最年長者として、今年の年頭には「まだまだ頑張るよ」としゃっていたのに、とても残念です。

改めて、ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、先週の木曜日に12分区の会長・幹事会が開催されましたので、2点程報告をいたします。

まずは、2月13日に予定されていますIM(インターシティー・ミーティング)の開始時間が変更になりました。12:30からの予定を12:00からとします。従いまして昼食はその前の11:30より準備しますので、早目にお越しください。

当クラブの2月12日の例会を翌日の13日に振替・5クラブ合同でのIM(インターシティー・ミーティング)としますので、くれぐれもお間違えの無い様によろしく願いいたします。

2点目の報告は、会長・幹事会で話題となりました。当クラブが企画しております。3月11日の東日本大震災義援チャリティーコンサートの件ですが、12分区の方々にも宣伝をして頂き、多くの方に来て頂く様に協力をお願いいたしました。お願いと言っても寄付のお願いで有りまして、事業自体の協力は今回はご遠慮願いましたが、陰ながら色々ご協力頂ける事が有るようなので、この際甘えてみようかと思っております。

この東日本大震災義援チャリティーコンサートの件は後程、社会奉仕委員会から報告と会員の皆様にお願いが有ると思います。



<幹事報告:高橋一彦>

2月のロータリーレートは、1ドル88円です。

ポリオについて国際ロータリーよ「ポリオ撲滅について」掲載された記事の情報が届いております。皆様のポストBOXに投函してありますので目を通してください。



<卓話:小林辰幸会員>

松戸北ロータリークラブに、昨年1月に入会させて頂きまして丁度一年になります。

私は父が長年お世話になっておりますので、存じ上げていた方も多く、加えて同年代の方もここ数年の先輩会員でいらっしゃいましたので良い環境にて仲間に加えて頂きました。有難う御座います。この場をお借りして御礼申し上げます。

初めてお時間を頂きましたので簡単な自己紹介をさせて頂きます。昭和39年・たつ年生まれの辰幸48歳です。家内に姫が3人(妹夫婦には姫2人なので弘お爺ちゃんには男の孫がおりません・男は辰幸だけでこりこりと言ったか言わないか・・・)仕事は(株)昭和精機・機械部品等の製造工場を経営(2代目)しております。趣味はスキー・マラソン・・・お酒を飲むのが好き

今日は、なぜロータリーが良いのか【結晶性知能】と世の中こんな景気ですから【不景気でも雇える営業マン】をテーマにしてお話させて頂きます。

法人会・JC(日本青年会議所)・YEG(商工会議所青年部)・・・等々ある中でロータリーの魅力はなんでしょうか?私はこう思います。

JCは20～40才まで、松戸ですとYEGは50才まで(柏45・中には35までの会も)青年の集まりです、同年代の仲間づくり・情報交換・地域内での連携・活性化活動などへの参加・・・数え上げられない程のメリットがありますが、唯一デメリットはそこには年齢制限がある事。各団体とも卒業してからもOB会なる物は存在しますが、別行動です。共に行動・活動しないのです。

一方ロータリーは、何も経営だけでなく、人生経験の豊富な先輩方と同じ空間で活動する、しかも一週間に一度。より経験を積んだ先輩経営者と共に活動できるのがロータリーの最大の魅力ではないかと私は考えます。

それでは結晶性知能についてお話しさせていただきます。人の能力は、歳を経るごとに劣っていくと思われがちです。体力も知力も、若い人にはだんだんかなわなくなってきました。特に40代からの中年以降は、若い時のイメージを引きずっています。物忘れがひどくなったり、少し走ると息切れがしたりすると「ああ、こんなはずじゃなかった・・・」と思ってしまう。

(次ページにつづく)

